

# 鳥取 会 報

## 第 31 号

2017年 1月



表紙		高齢者活躍人材育成事業実施状況	15~16	
目	新年の挨拶（連合会会長）	2	シルバー人材センターの紹介	17~18
	新年の挨拶（鳥取労働局長）	3	会員のひろば（琴浦町、南部広域）	19~20
次	理事長の抱負	4~10	趣味のひとつ（大山町）	21
	平成28年度事業実施状況	11~13	講習会に参加して	22~23
	シニアワークプログラム事業実施状況	14	会員名簿・あとがき（裏表紙）	

# 新年のごあいさつ



公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 宇野 浩 己

新しい年をお迎え謹んでごあいさつ申し上げます。

会員の皆様には、シルバー事業の運営にご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

また、行政をはじめ関係機関の皆様には、平素からシルバー事業について、格別なご指導とご理解を賜り、ここに新たためて厚くお礼申し上げます。

さて、昨年6月時点で我が国の総人口に占める65歳以上の割合は、27・1%で国立社会保障・人口問題研究所では、2024年に3割を超えると推計されています。このように少子高齢化が急速に進む中、政府は経済成長を支える働き手を確保しようと、高齢者の雇用促進に力を入れています。

厚労省は今年度第2次補正予算で希望者全員を対象とする66歳以上の「継続雇用制度」や「定年廃止」を採り入れた企業への助成金を創

設し、また来年度には、65歳以上の求職者を重点的に支援するハローワークの「生涯現役支援窓口」を増やす方針であり、本年一月からは65歳以上で新たに就職した人が雇用保険に入れるようになり、65歳以上の就業環境が整備されてまいりました。

「一億総活躍社会」の実現に向けて最大のチャレンジは、多様な働き方を可能とするともに、労働者の中間層の厚みを増やしつつ、格差の固定化を回避し、成長と分配の好循環を実現することであるといわれています。働く人の立場や視点に立つて、いわゆる「働き方改革」の実現をめざすことが求められています。

高齢者は加齢によって、その就業意欲や体力が変化するため、それに対応した様々な形態による労働力需要を創り出すことが必要となっています。

通常の雇用施策の限界領域や短期(時)間の

# 迎春

雇用的分野における、あっせん機能を強化するため、シルバー人材センター事業の更なる拡充が求められているところです。

こうした状況のもと、働く高齢者が相互にワーク・シェアに徹し、それぞれ身の丈に合った働き方を選択できるよう、就業に関する発想や仕組みを転換し、多様でしかも柔軟な労働市場づくりが何よりも急務となっています。

今後とも関係者の皆様の一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



# 新年のご挨拶



鳥取労働局長

## 内田敏之



会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。  
 年頭に当たり、新年を寿ぐとともに皆様の健康を心からお祝い申し上げます。

さて、我が国経済は、一昨年4月の消費税率引き上げの影響を受けて、景気回復力に弱さが見られましたが、昨年に入って景気は緩やかな回復基調が続く、鳥取県内においても、正社員の有効求人倍率も上昇の傾向が続くなど、雇用情勢の改善傾向が続いています。

また、鳥取県が毎月発表している「鳥取県の経済動向」によると、昨年当初の基調判断は

「一進一退しつつ、引き続き持ち直しの動き」とされ、雇用については、「一部指標は上向くも、足踏み感が残る」とされましたが、その後は多くの月で「引き続き改善の動き」とされています。

一方で、昨年10月の鳥取県の有効求人倍率は1・21倍となり、前年同期に比べ0・29ポイント上昇したものの平成23年10月から49ヶ月連続で全国平均を下回る状況となっています。

このような、先行きにまだ不透明感も残る雇用失業情勢の中、我が国は世界に類を見ない速さで高齢社会が進展しており、今後も社会の活力を維持していくためには、経済が安定して発展するとともに、経験が豊富で意欲と能力のある高齢者が、可能な限り社会の支え手として活躍し、年齢に関わりなく働くことができる「生涯現役社会」を実現する必要があります。

このため、鳥取労働局では、生涯現役社会の

実現を目指し、企業等に対する年齢を問わない求人募集の指導、希望者全員が65歳まで働くことのできる雇用確保措置の導入指導、さらに70歳まで働くことのできる制度の積極的普及を図るとともに、シルバー人材センター事業の推進により、高齢者が地域で働ける場や社会を支え活動できる場の拡大に取り組んでいるところです。

特に、シルバー人材センター事業は、高齢者の多様な就業ニーズに応じた重要な役割を担っており、各シルバー人材センターの役割と取り組みは、高齢化の一層の進展により、今後ますますその重要性を増すこととなります。

会員の皆様には、我が国における社会活力維持等のため、今後も社会の支え手として一層ご活躍いただきますようお願いいたしますとともに、シルバー人材センター事業のますますのご発展と、会員の皆様のご健康をお祈りして、新年に当たってのごあいさつといたします。



# シルバー人材センター

## 理事長の抱負

公益社団法人 鳥取市シルバー

人材センター

理事長 田中 勉



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、昨年の5月から鳥取市シルバー人材センターの理事長に就任し、その後、同年六月二十一日に開催された鳥取県シルバー人材センター連合会定時総会後の臨時理事会において、副会長に選任されました。副会長の職責を果たすよう、鋭意努力してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

鳥取市シルバー人材センターは、昭和五十六年七月に設立され、本年度は、三十五周年を迎えることになりました。

この記念の年を祝して、昨年十一月二十三日に「設立三十五周年記念式典」を挙行し、多くの会員や鳥取市民の皆様にお出でいただきました。ご協力

をいただきましたすべての皆様にご協力をお願いいたします。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、わが国は、人口が減少する一方、高齢化率が上がり、生産年齢人口が減少してきています。

このことは、医療保険や年金を支える人1人当たりの負担を大きくし、社会保障制度そのものを危うくする要因となっています。

また、一方で、短時間就業や早朝、夕夜間就業、介護、育児等の現役世代を支える分野における労働力不足が生じています。

そのため、国は、高齢者に労働力不足の分野や介護、育児等の現役世代を支える分野を担ってもらおうと平成二十七年から労働保険特別会計による補助制度を創設しました。

鳥取市シルバー人材センターは、これらの分野への就業機会の拡大に努めるとともに、この補助制度の算定基礎となっている一般労働者派遣事業に鳥取市の財政支援を受けながら、積極的に取り組んでまいります。

また、鳥取市において、平成二十九年度から開始される「鳥取市生活支援・介護予防サービス」の体制整備に向けて設置された「鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会」の委員として鳥取市シルバー人材センターも加わり、具体的にサービスが提供される平成三十年四月からの事業参入に向けて、会員の拡大や研修、事務局体制の整備等の準備を進めていきたいと考えています。

鳥取市シルバー人材センターは、鳥取市をはじめとする行政機関等と連携を図りながら、高齢者の福祉の増進に寄与し、地域社会から信頼される公益社団法人の役割を果たしてまいります。

終わりに、皆様にとって、明るく、希望に満ちた良い年になりますことを祈念して、新年のごあいさつといたします。

公益社団法人 米子広域シルバー

人材センター

副理事長 後藤 巖



新年あけましておめでとうございます。

シルバー連合会会員・役員、事業関係者の皆様におかれては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。地域の皆様のご支持と米子市・日吉津村など関係機関のご支援・ご協力により、不断の事業運営が図られておりますことを厚くお礼申し上げます。

平成二十七年度は「公益社団法人」に移行した二年度目でした。事業実績は、会員数が〇・四％増の七六六名、契約金額は四・一％増の二億二千八百万円、就業延べは六・〇％増の五万八千八百人日でした。会員増強・拡大は、関係各位のお取り組みに基づく就業機会の拡大と連動して図れるものと考えますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

さて、基盤の平成二十八年補助事業は平成二十

七年度に比べ、国の一般会計からの補助金水準が低減し、代わって労働者派遣事業等に焦点をあてた「高齢者活用・現役世代サポート事業」並びに地域特性を活かした企画型「地域就業機会創出・拡大事業」の採択など厚生労働省の特別会計（雇用保険雇用勘定）を活用した事業費補助がより拡大し、総合して若干の増額となっています。

現在は従来からの需要のほか、人手不足を背景に現役世代の働き手の代わりに問合せがあるような状況です。

また、センターには引き続き高齢者などの生活支援サービスの更なる充実が求められるところですが、先の企画型事業として「高齢者等の就業・体験型プログラム・共働推進事業」として立上げ整備中です。高齢者等の心身の活性化及び健康維持・増進効果に寄与するための新たな就業分野の開発に取り組んでいるところです。

会員各位や地域の皆様のご理解・ご協力のお願いと、事業関係者の皆様のご健勝並びにご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



理事長 山脇 誠

公益社団法人 倉吉市シルバー  
人材センター

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し

上げます。

さて、昨年10月21日に発生しました鳥取中部地震に際しましては、各地から温かいお見舞いや激励のお言葉をいただきありがとうございました。会員は就業中でありましたが、幸い怪我もなく、事務所も書類が落ちた程度で、大きな被害はありませんでした。しかしながら、会員の中には、家屋や家具の破損、墓の倒壊など多くの被害を受けられた方もあり、修理は今年も続きそうです。本年は復旧、復興に向けての1年となりますが、皆が力を合わせ、前を向いて進んでいきたいと思えます。

国は、少子・高齢社会が益々進行していく中で、一億総活躍プランを作成し、高齢者の多様な就業機会の確保を進める中で、シルバー人材センターへの期待はますます大きくなってまいります。会員の皆様は、これまでの知識や経験を活かされ、日常生活に密着した仕事を通して、地域社会に大きく貢献されており、そして、ご自身の生きがいや健康増進、経済的自立など、地域社会の中で「支えられる側」ではなく「支える側」を実践しておられます。しかしながら、シルバー人材センターの現状は、会員数の減少、契約件数の減少が続いております。原因の究明や対策を早急に行わなければならないと考えております。

会員の皆様、役職員の皆様がこれまで築いてこられたシルバー人材センターの地域社会での確たる地位をもとに、さらに地域から愛され、利用者から信頼されるセンターを目指して、微力ではありますが取り組んで行きたいと考えております。

この1年が、関係者の皆様にとって明るい年になりますことを祈念し、新年の抱負といたします。



公益社団法人 境港市シルバー  
人材センター  
理事長 高松 武美

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、我が国の総人口は平成二十年をピークに減少し続け三十四年後には一億人を切ると推計されています。高齢化率も平成四十七年には、33%となり三人に一人が高齢者になると予測されており、超高齢化社会と併せ労働力人口の減少が懸念されています。

こうした中、高齢者も女性も誰もが活躍できる全員参加型の社会を目指すための「ニッポン一億総活躍プラン」が閣議決定されたことから、シルバー人材センターが担う役割は益々重要になってきました。今まで、センターの仕事は、働くことを通して仲間づくりや健康維持など、生きがい就業が殆どでありましたが、最近では、経済的な理由から就業される会員も増えてきました。そういった会員の希望を叶えるため、法改正により働き易くなったシルバー派遣事業の推進の必要を強く感じております。

二十九年度から当市においては、介護予防・家事

援助サービスとして、市の委託により、室内清掃、洗濯、調理等のサービスをセンターが実施することとなり、家事援助班の会員を中心とする体制整備、とりわけ女性会員の拡大が強く求められております。福祉や医療の受け手ではなく、地域を支えるという気概を持って、会員の確保、就業機会の拡大に取り組んでまいり所存です。

結びに、この一年の、関係者の皆様のご健勝とご活躍を祈念して新年のごあいさつといたします。

公益社団法人

南部広域シルバー

人材センター



理事長 有馬 均

新年明けましておめでとうございます。

平成二十八年五月に公益社団法人南部広域シルバー人材センターの理事長に就任いたしました有馬でございます。シルバー人材センターの目的は「高齢者の生活の充実」「地域社会への貢献」であります。シルバー人材センターの事業を運営推進するには次のことを役職員会員が一体となつて取り組まないといけないと思っております。

一、法令の遵守

労働派遣法、公益法人制度改革など関係法令が改正されており役職員会員は法令を遵守し、適正に就業しなければなりません。

二、安全就業と人材の確保

安全はすべてに優先する。受傷事故を防止し安全で安心できる就業にする。また発注者様あつての組織ですから発注者様に満足していただくには技術・技能を高め、日々自己研鑽に努めることが大切です。

三、組織の強化

当センターは会員が減少しつつありますので、会員の拡大をはかり仲間を増やすことが重要です。

四、体制の充実と強化

新たな公益法人制度では、理事のあり方が法定化され厳しい職責が求められ、役員は会員の声に耳を傾け、問題点を把握し、諸問題を解決していくことが必要です。

五、就業の機会の開拓と拡大

働く場を確保することは大切なことで役職員会員が一体となつて就業開拓しなければならないと考えます。

六、社会への貢献

公益法人であるからには地域社会へボランティア活動等社会貢献することが求められています。進んで社会貢献活動を実行いたしましょう。

終わりに、行政・関係機関等の皆様にはさらに御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人

智頭町シルバー

人材センター



理事長 小林 實夫

平成二十九年の清々しい新春を迎え謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年鳥取県中部地震で被災された方々には心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

さて、私ごと、県内の理事長のなかでも随分と古株になりました。その間シルバーを取り巻く環境は厳しさを増すばかり、会員拡大・就業の開拓、派遣事業の取り組み等、課題は常に山積であります。

国のシルバー関連の予算についても、平成二十二年に削減されて以来、下がる一方でしたが、今年度は高齢者活用・現役世代雇用サポート事業や、地域就業機会創出・拡大事業のようなプロジェクト型の事業費を拡充するといった、高齢者の多様なニーズに見合った働き方や地域のニーズを把握して地域に貢献していくことが求められ、評価される予算組みに変わってきています。

これらの現状を踏まえれば、攻めの事業展開は不可欠であり、自治体や地域の組織との連携を図りながら、「介護予防・日常生活支援総合事業」への積極的アプローチをはじめ、地域のニーズに合致した「お役に立てる」を実感できる就業の開拓を一心一意取り組んでいきたいと思っております。





公益社団法人 岩美町シルバー  
人材センター

理事長 溝口 修

また、高齢者雇用安定法の改正に伴いシルバーの会員である高齢者の適切な就業環境を確保することの重要性を再認識し、昨年九月には適正就業ガイドラインも作成されております。魅力ある就業先の開拓は、併せて適正な就業であることも厳しく求められるようになります。今一度、役職員・会員一同、「適正就業」について、正しい共通の認識のもと、事業に邁進していく所存です。

終わりにりましたが、関係各位の益々のご発展と、会員の皆様並びにご家族様のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。  
鳥取県シルバー人材センター連合会の皆さまのご健勝をお祝い申し上げます、併せて常日頃お世話になり感謝致します。

いつも岩美町シルバー人材センター事業に対し、町民はじめ行政・会員・役員の皆様から、「親戚付き合い」と「愛情に満ちたご指導」を頂き、有難うございます。平成二十八年度は、契約額・就業率など目標達成の見込みで嬉しいかぎりです。

近年、国内外とも想定外の事が発生し、激変の時代ですが、先輩諸氏と皆様の努力の積み重ねのおかげ

で、本年、岩美町シルバー人材センターは設立二十周年の慶賀を迎えます。

これはひとえに、団結・工夫・共助がキチツト継承され、高齢者が活躍できる組織の責務を果たしている公益社団法人の証です。

国政が、地域センターの運営に直接影響する時代だからこそ、高齢でも、「現役の心」で知恵と工夫をしながら「健康第一で楽しく働き」、「ボランティア活動」も行うセンターとして努力します。

団塊世代が高齢化を迎え日常生活の支援の仕事が増大するなど、男女共同参画の観点からも会員拡大が重要であり、とりわけ女性会員は、社会ニーズにも貢献できる絶好のチャンスです。人材増加なくしてセンターの存在価値はなく、パワーが発揮できません。

「働くから元気」ですし、「社会貢献」もできません。そして「生き甲斐」や生活の糧にも繋がります。皆さまのご入会をお待ちしています。

シルバー会員になれば「あんな定年後の暮らし」や「あんなお爺ちゃん、おばあちゃん」のようになりたい」と言われ続けるよう、より生き活きと就業できるよう頑張ります。

「自主・自立・共働・共助」のもと、「人間ファースト」で前進することを決意しています。

今年も関係各位のご支援とご協力を賜りますとともに、地元と県連の皆様のご健勝とご多幸をご祈念し、年頭のご挨拶とします。

公益社団法人 湯梨浜町シルバー  
人材センター



理事長 小居 貞歳

新年あけましておめでとうございます。  
輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、湯梨浜町におきましては平成二十八年十月一日現在人口一万七千七十九人、このうち六十五歳以上の高齢者は五千五百五十人で高齢化率が三十三パーセントを超えた状況となっております。この現実的な高齢社会で地域づくりの重点に、「健康・長寿」のキーワードが必ず出てまいります。我々の組織が実践している活動がその大きな方向性を示しているものと思えます。

シルバー人材センターは、全国的に受注額会員数が減少傾向にある中、当センターは幸いにも平成二十八年度の受注額は増加し、会員数も減少することなくほぼ例年以上の事業推進を図ることができております。

公共施設管理に関係する受注機会の拡大を重点的に取り組んでおります、当センター管内には県立公園を始めとする公共施設の維持管理業務に民間事業者との競合しない部分で就業率を高めることができました。

これはひとえに、行政、地域の皆様の温かいご理解ご協力の賜と深く感謝いたしております。

この一年が、関係各位にとって明るく楽しい年になりますことをご祈念申し上げます。

公益社団法人 琴浦町シルバー 人材センター



理事長 田中 明

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、喜びに満ちた新年を健やかに迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年10月21日の中部地区をおそった震度六弱の地震による災害を受けた皆様に心から、お見舞いを申しあげると共に一日でも早く元の姿の復旧、復興を願う者です。

益々進む超少子高齢化社会にあって高齢者が社会の担い手としての社会参画が強く求められています。シルバー人材センターの目的は定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的、かつ短期的な就業その他軽易な業務に係る就業の機会を確保し組織を通してその能力を活かした就業、多様な社会参加活動を援助して生きがいの充実と福祉の増進を図ると共に活力ある地域社会づくりを目指して、安全、安心の基本理念に基づき明るく、楽しい環境の中で暮らせる地域社会を求めて頑張つてまいります。

今年も関係各位の皆様のご健康でご活躍を祈念し新年のご挨拶といたします。

公益社団法人 北栄町シルバー 人材センター



理事長 日置 勝彦

新年おめでとうございます。会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、皆様のご協力により全国的にも上位の会員入会率の実績を上げることができました。また、重篤事故もなく就業機会の増加により業務収入も拡大するなど、厳しい環境の中でも安定した北栄町シルバー人材センターの運営を進めることができましたことに感謝申し上げます。

さて、少子・高齢化率は更に進みあらゆる分野において要員不足が叫ばれています。特に育児や医療・介護等の福祉関係では深刻な問題となっており、シルバー人材センター等を通じた高齢人材の活用が現実味を帯びてきています。

そのためにも生涯現役社会を実現するため高齢者の働きたいとの願望をかなえるための就業支援の充実が進められています。北栄町シルバー人材センターとしても避けて通れない課題となつてきています。

昨年は新会員の拡大が図られたものの、高齢のよる退会者も続いています。会員の拡大は最も基本的な課題であり、何よりも重視せねばならないものです。お客様の期待に応えるためにも引き続き就業機会の拡大と会員拡大の取り組みを意識してまいります。

す。

ときに、シルバー事業は臨時的で短期的かつ軽易な業務ですが、特定の方が長期就業となれば、他の会員に公平に就業機会の提供ができなくなるので、適正就業確保のため、会員間でのローテーションを組んだり仕事の分かち合いを求めてまいります。

そして何よりも留意し、気を付けるのは安全作業です。まだまだ安全帽がかぶれない会員がいますので、役職員が中心となつて取り組むこととし、安全適正作業、事故ゼロへ向けて取り組んでまいります。皆様にとつて、幸多い良き年になりますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

公益社団法人 大山町シルバー 人材センター



理事長 近藤 昭夫

新年明けましておめでとうございます。

平素は、大山町シルバー人材センター(以下SC)の事業及び運営に対しご支援ご協力賜り誠に有り難うございます。

早いもので、旧3町のシルバーが合併し12年経過然も公益法人に衣替えし5年目になり、先だつて県の担当課の受監を受け、9時〜16時15分まで実施致しました。

3年前の前回は14時15分ごろに終了したと思いますが、年々監査は更に厳しくなるものと感じ、事務

局の更なる頑張りを期待致します。

我が国は、総人口に占める65歳以上の割合は20%以上で、大山町では30%を超え、20年後は更に40%に達すると試算がなされており、集落の存続・維持が問題視されています。

このような世界に類のない少子高齢化社会を迎え、我々高齢者が長年培った経験と能力を有効に活用し「生涯現役」として、地域社会の中核を担う責務を各方面から求められており、これこそ「福祉の受け手から社会の担い手」になる絶好の機会と考えております。

しかし、現況は厳しく、一般企業からの費用節減による発注減、及び管理者制度等による公共からの締め出し、国からの支援の減額、会員の減少等が山積しております。

もちろん、一朝一夕ですべてが解決するわけではありませんが、会員・役職員がSCを取り巻く状況の変化を認識し、情報交換等を含め発想の転換が急務であると思っております。

そのためには、町民の皆様及び発注者の皆様との日頃のコミュニケーションを図り、信頼と安心を醸成し、就業の開拓、事業の拡大に繋げていく必要があります。

シルバーの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を再確認し、進む決意です。

最後になりましたが、当センターの存続と発展のためには大山町の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。「会報鳥取の発刊」のご挨拶と致します。

一般社団法人 八頭町シルバー 人材センター



理事長 衣笠 春壽

新年あけましておめでとうございます。併せて県内会員、関係各位が健やかに新年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。また、昨年十月に発生した地震で被害を受けた皆様のいち早い復興並びに健康影響からの回復を願い八頭町シルバー会員一同、心より励ましのエールを送らせていただきます。

さて今年度も引き続き変化、混沌の見えない国際情勢に翻弄される日本に大きな不安も感じる場所があります。国内での大きな課題は深刻、複雑な高齢化社会への不安であろうと思います。人口減少、過疎、空き家、独居、年金、医療、障害、認知・・・どのあたりで国に助けてもらえるのか分かりません。八頭町シルバーは会員一四〇名の小規模シルバーです。国が唱えるシルバー高齢者の派遣雇用、一億総活躍、生涯現役社会など、浸透の図り難いフレーズはさておき、今年も活力あふれるシルバーであらねばと念ずるところです。幸いに町の前向きな支援を受けております。会員増も期待できない、高齢化が進む中、少数精鋭で生きがいの充実や健康維持を願い、小なりとも地域への貢献を果たし、安全安心、会員相互の連携を穏やかに永遠に不滅でありたいと願う新年であります。

本年も引き続きご支援、ご鞭撻をお願いすると

ともに、皆様のご健勝をお祈りいたします。

江府町シルバー 人材センター



理事長 山本 信男

新年あけましておめでとうございます。

シルバー連合会・会員をはじめ、事業関係者の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、熊本地震をはじめ鳥取県でも中部地震に見舞われました。被災された方や被害にあわれた方も多くおられると思います。

この場を借りて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当センターはご存知のように県下最小のセンターではありますが、昨年の町長選挙で町長になられた白石新町長が掲げる「3000人の楽しい町」をつくるというキャッチフレーズの基、今年も「自主・自立・共働・共助」を基本理念にすえ、「小さくてもキラリと輝くシルバー人材センター」・「会員同士お互いの顔が見えるシルバー人材センター」・「地域の皆様から必要とされるシルバー人材センター」の3つを活動の礎として活動してまいります。

終わりになりますが、昨年は当シルバー人材センターにとっても江府町社会福祉協議会のボランティアアセンターへの参入、地元の特定非営利活動法人奥

大山倶楽部への事務局機能委託等節目になる一年でした。新体制も二年目に入り会員にも町民により愛されるシルバー人材センターづくりに励みたいと思っております。

これからも皆様に一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます、熊本地震をはじめとする自然災害に伴う被害や心痛が一刻も早く回復されることをお祈りして年頭のごあいさつとさせていただきます。

日南町シルバー

人材センター



会長 池岡 利行

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのことと

お慶び申し上げます。日頃よりシルバー事業の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年適正就業、安全就業を重点に仕事を薦めた結果、無事故で終了することが出来ました。

本年も決して気を緩めることなく作業の安全に留意し、業務実績を伸ばしてゆきたいと考えています。特に最近庭木の剪定作業の依頼が増加しており対応が遅れているところです。高齢化によって今まで自分が行っていた作業をシルバー人材センターに依頼されるケースが多くなってきました。

これからは、もっと多くなることが予想されます。

剪定作業の出来る人材育成を急ぐ必要になってきました。

また、農業人口減少により、田畑が荒れ草刈りの面積も、大幅に増加しています。このような状況のため、シルバー人材センターの仕事も、年毎に増加してゆきます。会員数の増加と事業実績の向上をはかると共に、地域の皆様に信頼される組織として発展するよう取り組んでまいりたいと思います。

これからも関係各位のご支援ご協力をお願いし、皆様方のさらなるご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

三朝町シルバー

人材センター



理事長 田渕 忠昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様共々、元気で新しい年を迎えましたことと、今年が良い年になりますようにお祈りいたします。

昨年十月二十一日に発生した鳥取中部地震で被災されました会員の皆様またご家族の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

三朝町シルバー人材センターにおいては、五十数人と会員数が少なく、また高齢になってこられた会員も多く、そして入会される方は少なく、作業配慮に苦慮している状況です。

六十歳定年を迎えられた方々も六十五歳まで雇用が延長される傾向にあるからでしょう。

当センターでは、作業依頼が多岐にわたり、さまざまな能力を必要とします。よってさまざまな方々の入会を希望しているところです。

自分自身の潜在能力を掘り出せる機会があるように思います。

最後になりましたが、関係各位のご支援ご協力をお願いし、本年も会員の皆様のご健康とご健勝を祈念し新年のあいさつとします。



**平成二十八年事業実施状況**

**平成二十八年度 定時総会**

平成二十八年六月二十一日（火）倉吉市にて開催

定時総会が開催されすべての議案が原案とあり承認されました。

- 第一号議案 平成二十七年事業報告の件
- 第二号議案 平成二十七年決算報告承認「監査報告」の件
- 第三号議案 定款第四十二条改正の件
- 第四号議案 役員の報酬等及び費用に関する規程の改正の件
- 第五号議案 第九期役員補充の選任の件



**第一回理事会**

平成二十八年六月六日（月）倉吉市において開催  
審議された議案は次のとおりでいずれも原案のとおり承認されました。

- 第一号議案 平成二十八年度定時総会（案）について
- 第二号議案 平成二十七年収支補正予算書（案）について



- 第三号議案 平成二十七年事業実施報告書（案）及び収支計算書（案）について「監査報告」
- 第四号議案 平成二十八年度収支補正予算書（案）について
- 第五号議案 第九期役員補充の選任について
- 第六号議案 定款第四十二条の改正について
- 第七号議案 役員の報酬等及び費用に関する規程の改正について
- 第八号議案 理事及び監事候補者選考要綱の改正について

**第二回理事会**

平成二十八年六月二十一日倉吉市において開催  
第一号議案 副会長選任の件について

**第三回理事会**

平成二十八年十月二十八日倉吉市において開催  
第一号議案 平成二十八年度収支補正予算書（案）について



## 安全・適正就業推進委員会

六月九日倉吉市において開催（出席者十一名）  
議題

- 一、平成二十八年年度安全・適正就業推進事業基本計画（案）について
- 二、平成二十七年年度事故（傷害・賠償）発生状況及び安全・適正就業パトロール実施状況について
- 三、平成二十八年度安全・適正就業推進研修会について

## 安全・適正就業研修会

七月十四日（木）各シルバー人材センター役員・会員九十名が参加

最初に安全就業標語二百五十五編の中から最優秀賞・優秀賞・入選の十一名を表彰  
最優秀賞作品「飛び石と受けるネットで事故防ぐ」



続いて講話として鳥取労働局健康安全課長木村靖

氏から「労働災害の現状と対策」、事例発表（公社）米子広域シルバー人材センター環境整備班長井上進氏から「草刈作業における安全対策の取組について」（公社）倉吉市シルバー人材センター理事長山脇誠氏から「倉吉市シルバー人材センターの安全就業対策について」。また（公社）岩美町シルバー人材センター理事長溝口修氏から「思いやりの作業現場」という事例発表がありました。

## 第一回事務局長会議

六月十三日倉吉市にて開催

- 一、労働局から説明
- 二、第一回都道府県連合事務局長会議伝達

## 第二回事務局長会議

八月十九日倉吉市にて開催

- 一、第二回都道府県連合事務局長会議伝達

## 第三回事務局長会議

十一月九日倉吉市にて開催

- 一、全国会長会議伝達
- 二、シルバー人材センター適正就業ガイドライン研修会総括

## 鳥取県経験交流会

十一月十八日（金）県内シルバー人材センター役員・会員及び市町村担当者八十六名の参加。基調講演は（公社）全国シルバー人材センター事業協会

前業務部長大山宏氏から「転換期のシルバー人材センター事業と共に歩んだ九年間」と題する講演。

次に（公社）柏崎市シルバー人材センター常務理事・事務局長青木健氏から「元気な高齢者と社会貢献」、米子市経済部商工課労政係長渡辺慶一氏の「生涯現役促進地域連携事業について」と題した講話がありました。



### 適正就業ガイドライン研修会

シルバー事業の原理・原則である「適正就業」について連合会、センター役職員を対象として研修会を開催

- 東部地区 十月二十一日、役員十七名、職員十名 合計二十七名
- 中部地区 十月十九日、役員三十八名、職員八名 合計四十六名
- 西部地区 十一月八日、役員三十二名、職員二十名 合計五十二名



### 安全就業講習会の開催

安全就業は、シルバー事業の基本として各種講習会を実施。

- 西部地区 剪定 参加者二十四名 五月十七日
- 中部地区 刈り払機 参加者二十二名 六月十日
- 東部地区 安全パトロール 九月七日



### シルバー人材センター 事業普及啓発促進月間

（公社）鳥取県シルバー人材センター連合会では「10月15日（土）」を「シルバーの日」として米子市の繁華街において啓発用ポスター、リーフレット等啓発用品の配布を行った。各センターに於いても市町村のイベント事業への参加、リーフレット・チラシ等の配布、公共施設等での清掃・奉仕活動を行うなど、多様なPR活動を実施しました。



## 平成28年度シニアワークプログラム地域事業実施状況

鳥取労働局より「シニアワークプログラム地域事業」を受託し活動拠点の協力を得ながら、事業主団体及び企業と連携を図り多種多様な技能講習を行い、講習修了時に受講者を対象に管理選考を実施しました。

No	講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	申込数	受講者	修了者
1	ビジネスパソコン講習	米子	6/13～6/23	9	20	31	20	17
2	フォークリフト運転技能	鳥取	6/14～7/15	6	20	12	11	11
3	剪定スタッフ講習	鳥取	6/28～7/8	9	20	19	14	14
4	フォークリフト運転技能	米子	6/29～8/5	6	20	17	14	14
5	剪定スタッフ講習	米子	7/11～7/22	9	20	19	17	17
6	ビジネスパソコン講習	倉吉	7/29～8/10	9	15	34	20	19
7	介護職員初任者研修	鳥取	8/1～9/26	25	15	14	12	12
8	ビジネスパソコン講習	鳥取	8/18～8/30	9	20	30	21	21
9	ビジネスパソコン講習②	米子	9/5～9/15	9	20	30	20	20
10	フォークリフト運転技能②	鳥取	9/28～11/10	6	15	17	12	11
11	ビジネスパソコン講習②	鳥取	10/6～10/19	9	20	15	13	13
12	フォークリフト運転技能	倉吉	10/26～12/2	6	20	28	24	21
13	フォークリフト運転技能②	米子	11/25～1/13	6	15	17	13	
14	ビジネスパソコン講習③	米子	1/20～1/31	8	20	未	未	未
					260	283	211	190

講習会実習、修了式風景



フォークリフト米子修了式



ビジネスパソコン倉吉



フォークリフト倉吉修了式



剪定米子実習風景

## 平成28年度 高齢者活躍人材育成事業 技能講習

地域の高齢者に、人手不足分野・現役世代を支える分野の派遣、請負、職業紹介の仕事に必要な能力を身に付けていただき、就業の拡大を図るために各地域のシルバー人材センターの協力のもと技能講習を実施しました。

	開催地	講習名	日程	日数	定員	受講者	修了者
1	鳥取市	剪定講習・初級	6月21日(火)～6月22日(水)	2	10	19	19
2		きもの着付講習	8月2日(火)	1	10	22	22
3		生活支援サービス講習	8月23日(火)～8月25日(木)	3	10	5	4
4		ハウスクリーニング講習	9月13日(火)～9月14日(水)	2	10	14	13
5		接遇・マナー講習	10月6日(木)	1	20	31	31
6		自動車安全運転講習	10月12日(水)	1	10	10	10
7		草刈講習	10月14日(金)	1	10	14	14
8		剪定講習・中級	10月18日(火)～10月19日(水)	2	10	13	13
9		パソコン講習・初級	11月9日(水)～11月11日(金)	3	15	21	19
10		パソコン講習・中級	11月14日(月)～11月17日(木)	4	15	18	16
11		生活支援サービス講習	11月15日(火)～11月17日(木)	3	10	6	6
12	岩美町	接遇・マナー講習	7月4日(月)	1	20	18	18
13	倉吉市	生活支援サービス講習	7月12日(火)～7月14日(木)	3	10	4	4
14		接遇・マナー講習	7月12日(火)	1	20	7	7
15		ハウスクリーニング講習	9月6日(火)～9月7日(水)	2	10	7	7
16	北栄町	草刈講習	11月4日(金)	1	10	24	24
17	米子市	剪定講習	5月17日(火)	1	10	24	24
18		生活支援サービス講習	6月14日(火)～6月16日(木)	3	10	13	13
19		草刈講習	7月8日(金)	1	10	25	25
20		ハウスクリーニング講習	8月9日(火)～8月10日(水)	2	10	3	3
21		接遇・マナー講習	9月15日(木)	1	20	16	16
22		剪定講習	10月4日(火)	1	10	15	15
23		パソコン講習・初級	10月11日(火)～10月13日(木)	3	15	19	18
24		パソコン講習・中級	10月17日(月)～10月20日(木)	4	15	19	19
25	境港市	草刈講習	8月26日(金)	1	10	19	19
26	江府町	草刈講習	10月21日(金)	1	10	20	20
27	南部町	草刈講習	10月27日(木)	1	10	25	25
合 計				50	330	431	424



接遇・マナー講習・倉吉



接遇・マナー講習・米子



接遇・マナー講習・鳥取

会報鳥取



剪定講習 春・米子



剪定講習 秋・米子



剪定講習初級・鳥取



剪定講習中級・鳥取



草刈講習・米子



草刈講習・境港



草刈講習・鳥取



草刈講習・南部



草刈講習・北栄



ハウスクリーニング講習・米子



ハウスクリーニング講習・倉吉



きもの着付講習・鳥取



パソコン講習初級・米子



パソコン講習初級・鳥取



パソコン講習中級・鳥取



生活支援サービス講習・米子



生活支援サービス講習・倉吉



生活支援サービス講習・鳥取①



生活支援サービス講習・鳥取②



自動車安全運転講習・鳥取



接遇・マナー講習・岩美

# シルバー人材センターの紹介

## 公益社団法人 北栄町シルバー人材センター

事務局長 杉川 弘行

北栄町は、鳥取県の中央に位置し、北には日本海に面した白砂青松の景色が広がる砂丘があり、南には肥沃な黒ぼく土の丘陵地帯が広がる農業が盛んな町です。

また、漫画「名探偵コナン」の作者 青山剛昌さんの出身地であることから「コナンに会える町」とも呼ばれています。

当シルバーは、平成17年1月に旧北条町と旧大栄町の合併で「北条町シルバー人材センター」が誕生し11年目を迎えました。

現在の会員数は165人で、新入会率は27・8%。全国で上位8番目となりました。

一昨年（平成27年度）は、当シルバーが合併して10周年。この記念事業として、「会員G・G大会」「日帰り研修会」を開催したところ、多くの会員が集い10周年を祝いました。

この2つの事業は、現在も続けており「親睦会」として、会員同士の交流を深める場として、会員は楽しみにしております。

当シルバーの独自事業として、「さつまいも・もち米」栽培を通じた「地域の自立・活性化活動支援事業」を3年前から取り組んでいます。

これは、会員とこども園の園児や施設の高齢者と

一緒に、田植え・稲刈り、さつまいも植え・いも堀り、餅つき大会をして楽しみ、会員と世代間交流を深めており、地域づくりに貢献しています。この事業により会員の就業率アップにも繋がっております。収穫のもち米は、天日干しのもち米で、お正月用として皆様より好評を得ています。



しめ飾り作り講習会

また、もち米の稲わらを利用して「しめ飾り」を作り事業を展開しています。町内全戸にチラシを配り注文を受け賜っています。昨年は1,200個（販売額約90万円）の注文があり、年末には早朝



大誠こども園交流会

から20名ほどの会員が集まり、「裏白」や「ゆずり葉」などを飾り付け、注文家庭に配布しています。今後も会員拡大、安全就業に努めると共に、適正就業ガイドラインの目的に沿いシルバー人材センターで働く高齢者の適正な就業の確保に努めてまいります。



会員親睦会：岡山後楽園

# シルバー人材センターの紹介

## 日南町シルバー人材センター

事務局長 塩見克己

平成二十五年四月に現在の事務所「日南町子育て支援センター」へ移転して三年八月が経過しました。

日南町シルバー人材センターは、数年前から町の方針で、社会福祉協議会と提携して事業をするよう指導を受け進めていきましたが、実質統合は、平成二十五年年度からです。

当支援センターには、社会福祉協議会をはじめ六団体が、同じフロアで活躍しております。

毎日、幼児保育や放課後のなかよし教室で、子供の声が絶えません。

そんな中で、当シルバー人材センターの事務所にも会員の出入りがあり、新たなふれあいの場ともなっています。

日南町は、小規模シルバーで、会員も現在六十四名で、七つの地域班で運営しています。

請負と委託事業で、年間一千万円の契約を目標に、特に夏場の仕事が大半ですが、冬季間の除雪作業もあります。



当日南町は、全国的にも超高齢化のまちですが、その高齢化社会の担い手として重要な社会参加をしております。

近年は、介護事業の改正で、町より訪問介護予防の仕事の一部を行っております。

また、町の環境整備等の依頼も受、会員も長年の経験をもとに多種多様な能力を十分発揮し、社会貢献に寄与しています。

昨年には、久しぶりに会員有志の研修と懇話会を開催し、意気もあがっており、まだまだ「やる気」で頑張っております。



# 会員の広場

いくつになってもキャレインジ!

公益社団法人

琴浦町シルバー人材センター

佐伯 登美枝



いろいろな帽子（モデルは会員）中央が佐伯さんです

六十という歳の区切りで、会社勤めも終わり、タバタと忙しくしていた生活から一転して毎日のんびりとした生活環境になり、本当にこんな生活で良いのかと思う日々でした。  
そんな時、シルバー人材センターの人から「タオル地で作業時の汗取り帽子を作ってもらえないか」



ヘルメットの下にかぶるタオル地の帽子（草刈班にとっても好評）

という依頼がありました。会員さんがヘルメットや麦わら帽子の下にかぶる用途のようで、汗取りと日よけの効果があるからということでした。

好きな縫い物が縁で声をかけて

いただいたのですが、気安く受けたものの、初めてのことでいろいろな素材や型を変えて試してみながら製作しました。特に草刈作業の会員さんに好評で追加注文をうけていると聞きまして、自分が何かの役に立てると感じるのは本当に嬉しいことです。  
その製作を機にシルバーへ入会しました。



パッチワークや手提げカバンなど作品の一部

今まで体験したことのない仕事にも挑戦したり、一日で根をあげそうになったことも二度、三度とありました。でもそのたびにもう一日、もう一日だけ頑張ろうと自分に言い聞かせて働



封筒詰め作業

きました。するとだんだん身体も気持ちも慣れてきました。  
おかげでずいぶん元気になり、シルバーで働く人たちとも友達になって、次の仕事の出会いがとも楽しみみです。  
また、以前からやってみたいと思っていたパッチワークも六十歳を過ぎてからようやくはじめました。教室に通い、針を持つのが毎日の楽しみになります。今ではサークルで指導をするまでになりましたが、指導と言いつつみながら一緒にワイワイと楽しんでいきます。  
『人生は壮大な暇つぶしである』誰の言葉か忘れましたが、仕事に趣味に、またさまざまな人との出会いにと、いろいろなことに挑戦して残りの人生を楽しく有意義に暇をつぶしていけたらなと思っています。

会員の広場

剪定、刃物研ぎならい6人

公益社団法人

南部広域シルバー人材センター

瀬角近志

趣味は鮎釣り・園芸・大工仕事

平成10年、それまで住んでいた大阪府堺市から引っ越して伯耆町に家を建てました。67歳の決断でした。その何年か前に米子市に娘が嫁ぎ、たびたび訪れた鳥取県西部にすっかり惚れ込み、転居を決心しました。伯耆町は人が温かで自然がすばらしいところです。玄関からは大山が望め、家の裏手には日野川が流れます。こちらに来てから知合った方々から手ほどきを受け、アユ釣りをするようになりました。家から歩いて3分でアユ釣りができるところは都会にはありません。ちなみにアユは家内の好物で、冷凍にして年中食べています。

シルバーに入会したのは平成15年。最初は剪定の



瀬角さんが釣った鮎。30センチ近い大物がたくさん冷凍保存されている。

片づけから始め、その後勉強をして本格的に剪定班で就業するようになりました。80歳を機に剪定の一線からは身を引きましたが、頼まれれば今でも剪定はしています。

いまシルバーの仕事として事務所からよく依頼があるのは刃物研ぎです。刃物研ぎは27歳まで暮らした鹿児島で父から基本を叩き込まれました。研ぐ刃物の種類は、ハサミ、ノコ、刈込バサミ、トリマー、チェンソー、刈払い機の刃など多種多様です。シルバーの会員も仕事で使う刃物を持ちこみます。刃物にはそれぞれに合った研ぎ方があります。たとえばカマは内側に曲がついていますので、小さい砥石で研ぎます。このため、包丁などより時間がかかることもあります。また、刃物を研ぐとき、刃のどこで物を切るかをよく観察し考えて研がないと、研いでも切れません。何事にも言えることですが、経験と工夫が大切です。



刈り込みバサミを研ぐ瀬角さん

趣味の話に戻りますが、園芸も好きです。特にツバキに魅せられています。気に入ったツバキを見ると、持ち主をお願いして枝先をもらい、さし木にします。栽培する種類もだんだん増えて、今

では10種類、20鉢ぐらいを管理しています。ツバキのほかにもハイビスカスやヒイラギなどの鉢植えも育てています。



ツバキはすべてさし木から育てたもの

このほか、大工仕事やコンクリート工事など、何でも自分でやります。ものごとにくよくよしない、おもいついたらすぐやる、というのが信条です。これが80歳を超えても元気でいられる秘訣かもしれないと自分では思っています。

# 趣味のひととき

公益社団法人  
大山町シルバー人材センター

戸野隆弘

きつ過ぎる激坂、まぶしすぎる日射し、そして美しすぎるロケーション。その中に身を置いていた時間をいま振り返ると、まるで夢のように思えます。

UTMB（ウルトラトレイル・デュ・モンブラン）は、モンブランを囲む総距離170キロ、累積標高差10000m超の山道を制限時間46時間30分以内に走り抜く「世界一過酷で、世界一美しい」と言われる山岳レースです。コースはフランス、イタリア、スイスの3国にわたり、ランナーはヨーロッパの絶景の中を進むこととなります。私は昨年8月に開催された「UTMB 2016」へ出場し、まさかの完走。ゴール手前で待っていた妻の手を高々と掲げながら、群青のゴールゲートへ飛び込んでいくことができました。

さて私は、40代の終わり頃からウルトラマラソンと言われる「超」長距離走の世界にのめり込むようになり、今日までに100キロ以上のマラソンや山岳レースを51回完走しています。そのうち、250キロ以上の大会が8回。ちなみに最も長いものは275キロでした。言っておきますが幻覚を見ながらの2晩徹夜のランは、断じて健康的ではありません。

そんな私も現役で仕事をしていた頃は、海外へ走りに行くことなどできませんでした。定年退職となつてさっそく臨んだ初の海外レースが、冒頭に記したUTMBだったというわけです。

ところで私は、退職するとすぐにシルバー人材セ



ンターへ会員登録をしました。以後は自分の時間を大切にしながら、無理のない範囲で少しでも地域の役に立ちたいと思つたからです。入会後はセンターの業務として、障子張りや公共施設の夜間休日の管理等をさせていただいています。

これから歳を重ねるにつれ、いまのような無茶な走りではできなくなるでしょうが、『シルバーで少し



働きランニング』という生活を続けていけたら幸いです。

# 講習会に参加して

## フォークリフト運転技能講習



仲 矢 雅 人

この度、フォークリフト運転技能講習を受講させていただきました。

四十一年間勤めていた会社を退職したのを機に岡山市から倉吉市に移住し、求職活動のため倉吉職業安定所を訪ねたおり、職員の方からシルバー人材センター連合会主催の講習を紹介され、大きな求職スキルになると考え受講を決めました。と同時にシルバー人材センターさんの幅広い取組みを知り、失礼ながら驚きを感じると共に感服も致しました。

さて実際の講習ですが、座学での「装置や構造」「法令」「力学」などの知識理論の難解さには頭を悩まされました。

また、実技講習においてはフォークリフトの舵取り車軸が後車軸であることから、自動車で言えばバックするハンドル操作をしながら前進するという操縦感覚に戸惑い、まともに走行もできず、実技試験合格への自信が無くなることしばしばでした。しかし講師の方々の懇切丁寧な説明指導と他の受講生の方々の励ましを力に無事資格を取得することが出来ました。

振り返ると講習の成果は三つあったように思います。一つめは、当然フォークリフトの運転技能資格を

取得できたことです。

二つめは還暦が間近となったこの年令で、人から学ぶことの難しさと楽しさを感じることが出来たことです。

三つめは講習でシルバー人材センター連合会の方々、講師の方々、受講生の方々とは触れ合う中で、鳥取県の皆さんの人柄の良さを感じることができ、残りの人生を鳥取県で過ごしていく何かしらの勇気を頂いたことです。

今後、講習に係られた方々に感謝しながら今回取得した資格を活かし求職活動に努めてまいります。



## 剪定スタッフ技能講習を

### 受講して



矢 野 俊 二

いつまでも元気で、長く働きたい思いで剪定スタッフ技能講習を受講しました。

還暦を前にして、人間ドックを受診した時に不整脈があることがわかり、医者からすぐに手術受ける必要があると言われ、十二時間に及ぶ冠動脈バイパス手術を受けました。手術後は、元気になりました

が、これからの人生をどのようなようにして健康で過ごせるか考えるようになりました。

若い時は、日本アルプスに魅せられ、北・中央・南アルプスの多くの山に登り、自然の厳しき、美しさを体験してきました。自然の中での経験と大手術を受けた体のことを考え、退職後する仕事はなるべく屋外でできる仕事と考えていました。鳥取県シルバー人材センター連合会さんが、発行されている技能講習のパンフレットの中に、剪定スタッフ技能講習があることを知り、長く働ける仕事と感じこれだと思いました。

講習は、座学と実習があり座学は樹木の種類や病気の種類、剪定用具と使い方等の剪定の基礎を学び、剪定は樹木についての知識と経験が必要なことを知り、剪定の奥深さを感じました。

実習は7月の熱い時期で、ヘルメットをかぶり指導先生の剪定手法を見よう見まねで、低木の刈込等の樹木の剪定を行い、汗をかきながら一生懸命の作業でした。

剪定作業は、共同作業でそれぞれの主観の差があり、切り方が分からない時はお互いに確認しながら切り過ぎないように、少し緊張しながら和気あいあいと楽しく剪定技術の習得ができました。

講習後は、自宅の庭木で学んだことを実践したり、そしてウォーキングで見かけた住宅の庭木、公園の樹木、街路樹を観察して剪定



の具合を確認したり、自宅に帰ってから樹木の葉、樹形から樹木の名前をネットで調べたりしています。今後は、講習で学んだことを就職や就業に役立て、長く働きたいと思います。この講習を企画していただいたシルバー人材センター連合会と教えていただいた指導先生に感謝致します。

## 介護職員初任者研修を 受講して



有松悦子

平成28年度介護職員初任者研修を8月1日から9月26日までの130時間、鳥取市伏野の鳥取県立福祉人材研修センターで受講しました。

5月末に退職した私は、毎日何もしなくて良い生活が始まると、社会から取り残されたような気がして、悲しくてやるせない日々が続きました。

その様子に気づいた友人が、「介護の資格が無料で受けられるんだよ」とパンフレットを持ってきてくれました。

「無料!!」この一言で即、申し込みました。

研修は約2ヶ月ではありましたが、66歳の私は学生気分に戻り、毎日行く所がある幸せ、新しい友も出来、知らず知らずの内にとっても元気になっていました。カリキュラムも4冊の厚いテキストに沿って学んでいきました。

先生方も、高齢者の私達が眠くならない様色々工夫され、楽しく授業が受けられました。特に私が受講して良かった科目は「老化の理解」「認知症の

理解」です。自分自身や身近な所でその様な状態になった時、早く気が付き、的確な対処が出来るようになると思います。

そして今、私はデイサービスで、1日4時間週3日働いています。授業で習った事のほんの少ししか出来ていませんが、体力の無くなった私に出来ることは「自分だったらこうして貰えるとうれしいな」と思うようなことを利用者さんにして差し上げるのかな？

自分の思いを一生懸命お話をされる方には、手握ってひたすら聞いて差し上げると、その内だんだんと落ち着いてこられます。

そんな様子を見ると、とても嬉しくなります。微力ではありますが、少しでも介護に携わりお役に立つ様になりたいと思います。

学ぶ機会を与えて下さった関係者の皆様に、お礼を申し上げます。



奥田浩吉

## ふたたび挑戦

私は、第2回ビジネスパソコン講習を受けました。講習日程は、平成28年10月6日から9日間「ついていけるかなー」と不安を抱きながら開講式に臨みました。

私は、会社を退職して間もない時、ふと思いついてシルバー人材センターに足を運んだ時に募集のチラシを見ました。そしてその場で申し込みを致しました。

私がこの講習を受ける気持ちになったのは公務員として60歳で定年退職、次の仕事をハローワークで探し、13年間その会社でお世話になり、7月をもって退職、まだまだ頑張れる。次に挑戦していこうと思っていた矢先でした。今までの勤め先に有ってパソコンとは無縁ではありません。必要な時は、見よう見まねで使っていました。当然、ひらがなと数字だけのキーしか叩けません。この講習を受けたらそれ以外のキーの力を知ることが出来る！そのためパソコンの基本を一から学ぼう。

これが動機です。開講式の日から、ワード、インターネット、メール、エクセルの講習です。73歳からの手習い、9日間ついていくのがやっと、先生も手が掛かったに違いありません。しかし丁寧に教えていただきました。感謝しております。

この講習会で、パソコンの新しいキーの力を知りました。と同じように私も自分自身知らない力があるかも知れないと、そんな気持ちを起因できたパソコン講習でありました。

私は、公務員の時に「行政書士」の資格を戴きました。これからは、この資格を活かし新しい自分に「挑戦」し、お世話になってきた「社会」に少しでもお役に立ちたいと思っております。

この機会を与えて頂きました鳥取県シルバー人材センター連合会の皆様に感謝し厚くお礼申し上げます。有難うございました。



# 公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名称	代表者	〒	所在地	電話番号	FAX
(公社)鳥取市シルバー人材センター	田中 勉	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社)米子広域シルバー人材センター	宇野 治己	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社)倉吉市シルバー人材センター	山脇 誠	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社)境港市シルバー人材センター	高松 武美	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社)南部広域シルバー人材センター	有馬 均	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社)智頭町シルバー人材センター	小林 實夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社)岩美町シルバー人材センター	溝口 修	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社)湯梨浜町シルバー人材センター	小居 貞歳	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-1	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社)琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社)北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社)大山町シルバー人材センター	近藤 昭夫	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社)八頭町シルバー人材センター	衣笠 春寿	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	山本 信男	689-4401	日野郡江府町江尾2069	0859-75-3211	0859-75-3211
日南町シルバー人材センター	池岡 利行	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



新年明けまして

おめでとう

ございます

## 表紙のことば

### オシドリ夫婦

オシドリといえば、なんといっても、仲の良い夫婦の例え、「オシドリ夫婦」が有名です。その昔、オシドリのつがいの子が1羽を捕らえてしまうと、残ったもう1羽がいなくなった相手を思い続け、挙句の果てに死んでしまうという言い伝えがありました。

この「思い死ぬ鳥」という言葉が短くなって、オシドリという名前が付けられた、という説もあるほど。

## あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして第31号の発行を迎えることが出来ました。まずもって、厚くお礼申し上げます。

平成28年は、「金」の字で描かれるようにオリンピックでの活躍の外、熊本地震、鳥取中部地震等、地震の多い年でもありました。

今年こそは、災害がなく、明るい話題が日本中に溢れるような年になればと祈っています。

## 会報 鳥取 第31号

平成29年1月発行

発行：公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76

電話：0859-37-2531

FAX：0859-37-2537